

# 国道253でも戦争法案ノ一の宣伝行動



参加を呼びかけ実現しました。駆けつけてくださったのは、地元、浦川原在住の人を始め、三和区、清里区在住の人たちなどです。このところ上越大通りなどでレッドアクションに取り組んでいる人たちも何人か参加してくださいました。急な呼びかけにもかかわらず、参加してくださいましたみなさんに感謝します。

宣伝行動では、車のスピードを落とすとして何人もの人が手を振ってくださいたり、いいねサインをしてくれた人もいました。うれしかったですね。集まった人は、次回は15日、同じ場所、同じ時間帯にやろうと決めました。みなさんもぜひ参加しませんか。どなたでも自由に参加できます。

ポスターやのぼり旗を持つての戦争法案廃止の訴え、これまでの、かに池公園前、山麓線交差点など旧市内から、さらに広がる動きになってきました。

## 1000人集会、弁護士や職などが参加呼びかけ人

8月30日、全国では戦争法案に反対する国会包囲10万人集会、全国100万人集会在予定されています。

これに呼応し、上越市でも30日、午後3時からジャスコ近くにある「かに池公園」で1000人規模の大集会、パレードが行われる予定です。

この行動の実行委員会が4日、市内で開催されました。そこでは、これまでの準備状況が報告されるとともに、当日の集会の運営やパレードなどについて話し合われました。

4日現在、呼びかけ人には上越市内21人の



【アキカラマツ】キンポウゲ科の多年草。漢字で、「秋落葉松」と書きます。葉はハギの葉そっくりです。でも細かくて、白い花が咲くと違いがわかります。いま、林の縁などで咲いています。写真は吉川区小苗代にて撮影しました。

弁護士のうち7割を超える15人の弁護士さんが呼びかけ人に加わっています。また真宗大谷派などの寺院の住職が14人、日本共産党を含む13人の議員、元医師会幹部なども呼びかけ人に加わっています。党派や宗派などの違いをこえた大きな運動になってきましたね。

## みんなのお寺のみんなの作品展

柿崎区の光徳寺で開催されている「みんなのお寺のみんなの作品展」を観てきました。

今回も大勢の人が絵画、写真など様々なものを持ち込み、みんなまで運営し、楽しんでいきます。

出店した人の中には私が知っている人が10人ほどあり、驚きました。今回の作品展は6回目。昨年の第5回作品展には1000人近い人が訪れています。今回もとても賑やかです。写真は松原長三さんのペーパークラフト作品です。



## 来週はレポート発行を休みます

「しんぶん赤旗」日曜版は9日号と16日号の合併号となっています。それに伴い、レポートは休みます。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1719 2015.8.9

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第三六七回

## 時の流れ

宝台寺の、お客を迎える大きな部屋にいて、柱にかかった丸い板に気付いたのは冷えた麦茶をいただいてからまもなくのことでした。気付いたというより、ご住職のお連れ合いであるS子さんから教えていただいたのです。

丸い板は黒塗りで直径が約四〇センチ、「大」という文字が彫られ、金箔らしきものが塗られていました。Sさんは「暦（こよみ）」と呼んでおられました。板は、いまの太陽暦が導入される前の陰暦の時代の「大小暦（だいしやうこよみ）」だったのです。もう一方の面には「小」という文字が同じように彫られていました。

友人のKさんとともに私がこの宝台寺を訪ねたのは八月の暑い日でした。私がお寺のことを知ったのは社会人になってからです。正確に言うと、宝台寺という名前は知っていたものの、それは地名であって、実際にお寺があるとは思っていませんでした。小学校の高学年の頃だったと思います。お寺の近くに戦争で片腕を失くされた方がいて、その人がわが家に行商に来ていました。私はその人を「宝台寺のお茶屋さん」と呼んでいました。

このお茶屋さんのお話を話したことで、ご住職やSさんとの話は一気に七十数年前にさかのぼりました。宝台寺には当時、東京葛飾区柴又から五〇人もの男の子たちを疎開で受け入れ、お世話をされたという歴史があったのです。

東京の子どもたちを受け入れるにあたって、一番の課題は、いうまでもなく食料の確保でした。当時は地元の人間の分を確保するにも苦労があった時代です。「子どもたちを食べさせるには地域の協力が欠かせなかったんでしょね」と訊くと、「食糧事務所からの配給がありましたから……」と言われました。配給された食料は十分だったわけではなく、食べられそうなものは何でも食べるといふすさまじいものでした。ときには大きい子どもたちと小さな子どもたちとで差が出てしまったこともあったようです。

残念なことに、疎開中、五〇人の子どものうち一人の少年が赤痢で亡くなりました。敗戦後、他の子どもたちは葛飾区柴又へ帰りましたが、幸運にも、住む家が残っていたといえます。

疎開してきた子どもたちとの縁で、その後、宝台寺の近くにある中保倉小学校など浦川原区内の小学生たちと葛飾区柴又小学校の子どもたちとの交流が行われることになりました。昨年も、柴又小学校の子どもたちが暑い夏の時期にやってきて、浦川原区内の小学生と一緒に疎開体験などを聴き、平和の大切さを学んでいます。

この日は現代の子どもたちの暮らしぶりについても話題になりました。宝台寺にはめずらしい囲炉裏があります。お寺にやってきた子どもたちが囲炉裏を囲んだときの姿を見ていると、七十数年前には想像できなかった携帯電話を持ち、その画面をずっと見続ける姿にとまどいを感じることもあるとか。

ご住職夫妻、Kさん、そして私の四人での話は先の大戦中のことから戦後のことまで、このお寺を中心にした様々な出来事を振り返り、私たちが生きていくうえで平和がいかに大切かを考えるいい機会となりました。戦後七〇年、戦争に参加することなく、日本が平和であったことの有り難さを思いました。ご住職夫妻に心から感謝します。

最初に書いた「大小暦」の丸い板。「外して、脇の文字もご覧ください」とSさんにすすめられました。側面には「天保十一年」という文字があります。この板が作成されたのはいまから一七四年も前だったのです。時の流れとその重みを感じました。



### 吉川で「やったれ祭り」、安塚では「歩行天まつり」

8月1日は「越後よしかわやったれ祭り」でした。猛暑で日中の出足はいまひとつでしたが、夕方からは大勢の人が原之町商店街に繰り出し、賑やかな祭りとなりました。

今回は中学校の放送部の人たちがアナウンス役をやったり、木遣り唄をうたったりなど、小中学生がいつも以上に活躍していました。地域学習の中にこの祭りを組み入れて取り組んでくださったようです。

最高潮の盛り上がりを見せたのは今年も神輿行列と太鼓集団の迫力満点の演奏でした。これらはフェイスブックにて動画で



投稿しましたので機会がありましたらご覧ください。

「越後よしかわやったれ祭り」は今回で17回目。区外からの参加者もずいぶん増えてきました。



安塚区の歩行天まつりは2日に開催され、猛暑の中、大勢の人たちが参加しました（写真上）。

私は昨年、初めて見たのですが、ここの祭りは何と言っても発動機が魅力です。昔からの発動機がずらりと並び、ぽんぽんとやっている、見事なもんです。「ぽんぽん」という音に惹かれて参加した人の中には、私の知っている人も何人もいました。私はこの日、ばか暑だったので、白いタオルで「あねさかぶり」をして見て回りました。来年も参加したいと思います。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月29日(水)	8月5日(水)
上越南消防署	0.043	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.045	0.050
名立分遣所	0.053	0.057